

おひさまだよい

2025.11月

今年、インフルエンザの流行が1か月早いとニュースでも報道されておりました。本園では、お遊戯会の前週に8人のお子様が発熱で早退をされ、一気に緊張が高まりました。防ごうとしても防ぎきれない感染症の一つですが、「手洗い・うがい」を丁寧に声かけしていきます。今年、例年に比べてこの時期の降水量が関東地方で25%ほどとのこと。乾燥もしていますのでお気をつけください。

おゆうぎかい たのしかった！

お遊戯会には、たくさんの方にお越しいただきありがとうございました。お子様方の豊かな表現にたくさんの拍手をいただきました。

練習を重ねながら、友だちと一緒に踊る楽しさ、揃う楽しさ、ダンスを見る楽しさも経験します。練習するたびに「スムーズに踊れるようになる」快感があるのだと思います。「今日もダンスしたい！」と友だち同士で目を合わせ担任にせがむ様子も、毎日のように見られました。

さて、年長児のミュージカルは私が作詞作曲をしておりますが、お子様が本当に心込めて演じてくれることにいつも感謝をしています。今年はお子様方に、自分の台詞を「どんな気持ちで言うのかを考えてみよう」という提案をしました。それは自分の演じる役柄とその人の気持ちを考えることで台詞の抑揚や大きさ早さにより深い表情が生まれるのではないかと考えたからです。

ある王子役のお子様は「意地悪な気持ちで言ってみよう」と先生と相談し、おうちでも練習をしてくださいました。おうちの方は、「意地悪そうな」というのは本当に難しいですねと親子で取り組んでくださいました。時間をかけて話の筋を理解し、自分の台詞に向き合い、一人ひとりが素晴らしい表現をしてくれたと感激しています。こういったすべてのことがお子様の「おゆうぎかい たのしかった！」に集約されています。



左上から右回りに 年中、ミュージカル、0,1歳児、年少、年長、2歳児

舞台袖からパシャ！「次はいよいよ僕たちの番だね」ちょっと緊張気味の表情でも、お子様方は本番に強いです！